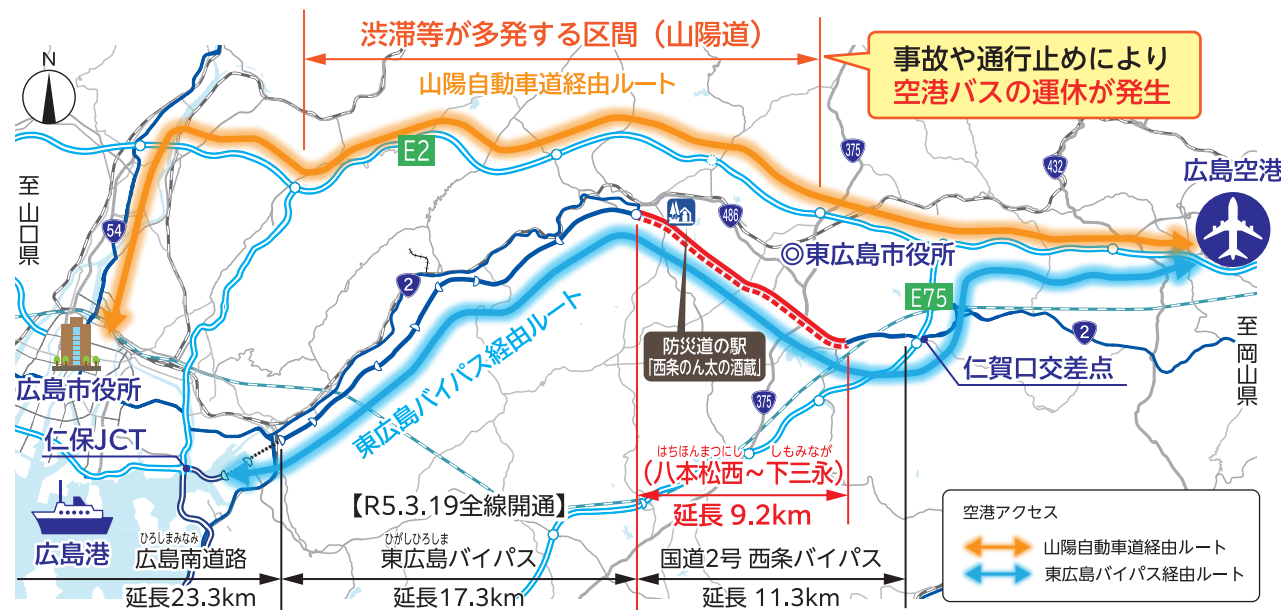
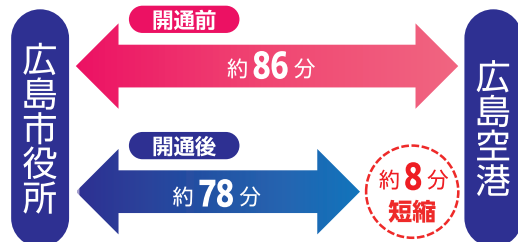


西条バイパスの主な整備効果

1 空港アクセス強化（東西軸リダンダンシー確保）



【広島空港アクセスの所要時間短縮※】
(国道2号ルート)

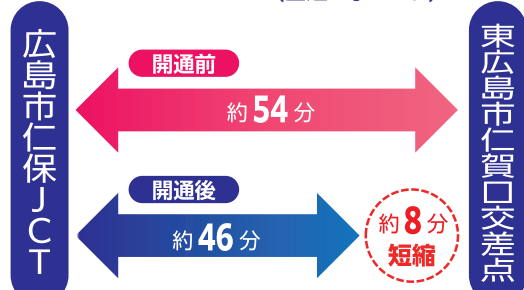


西条バイパスの交通混雑が解消することで、旅行速度が向上し、山陽自動車道通行止時における代替路としての機能強化が図られ、空港アクセスルートである東西軸道路において、信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。

2 都市間アクセス強化

西条バイパスを4車線化することで、通勤時間帯を中心に発生している交通混雑の解消が期待されます。東広島バイパスとあわせ、円滑な広域道路ネットワークが確保されることで、広島市・東広島市間など都市間のアクセス性が向上します。

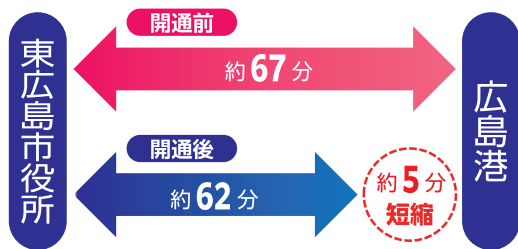
【都市間アクセスの所要時間短縮※】
(国道2号ルート)



3 物流効率化による地域経済活動支援

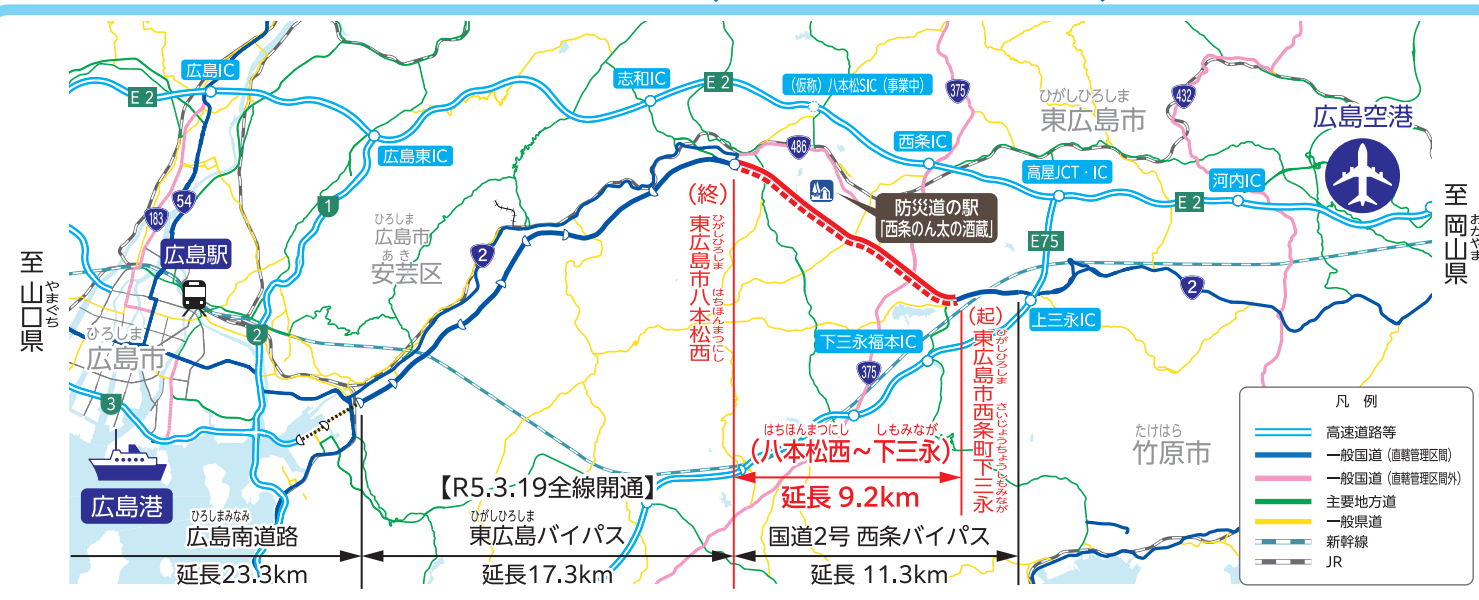
西条バイパス含む国道2号は、広島市・広島港への重要なアクセスルートです。西条バイパスの4車線化によりトラック輸送等の快適な走行環境が形成され、広島市中心部・広島港のアクセスも含めた輸送時間短縮による物流の効率化が期待されます。

【広島港アクセスの所要時間短縮※】
(国道2号ルート)



※出典：【現況】ETC2.0プローブデータ（R4.11月平日7時台）+東広島バイパス区間（V=70km/h）で計算
【整備後】現況+西条バイパス4車線化整備区間（V=60km/h）で計算

国道2号 西条バイパス（下三永～八本松）の位置図



事業経緯

- 昭和 50 年 都市計画決定
- 昭和 60 年 早稲木東～御園宇ランプ
L=2.6km（2車線）開通
- 昭和 63 年 御園宇ランプ～下見
L=0.9km（2車線）開通
- 平成 5 年 下見～八本松西
L=5.0km（2車線）開通
- 平成 14 年 東広島駅入口交差点 立体化
- 平成 24 年 上三永～下三永 4車線化
- 平成 28 年 都市計画変更
- 令和 5 年 下三永～八本松（4車線）
事業化

道路ができるまで

- 1 測量・地質調査
- 2 皆さまと設計協議
- 3 工事説明・工事
- 4 開通

国土交通省
中国地方整備局

Hこんにちは！ひろこくです
広島国道事務所

〒734-0022 広島市南区東雲2丁目13番28号
TEL (082) 281-4131 FAX (082) 286-7897
ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



道路の異状を発見したら…

道路緊急ダイヤル 無料 緊急通報 #9910 24時間受付



西条バイパス

しもみなが はちほんまつ
下三永～八本松



陸・海・空
アクセス強化

SAIJO BYPASS

国土交通省 中国地方整備局
広島国道事務所

陸 海 空 都市・港・空港間の連携強化

西条バイパス 下三永～八本松

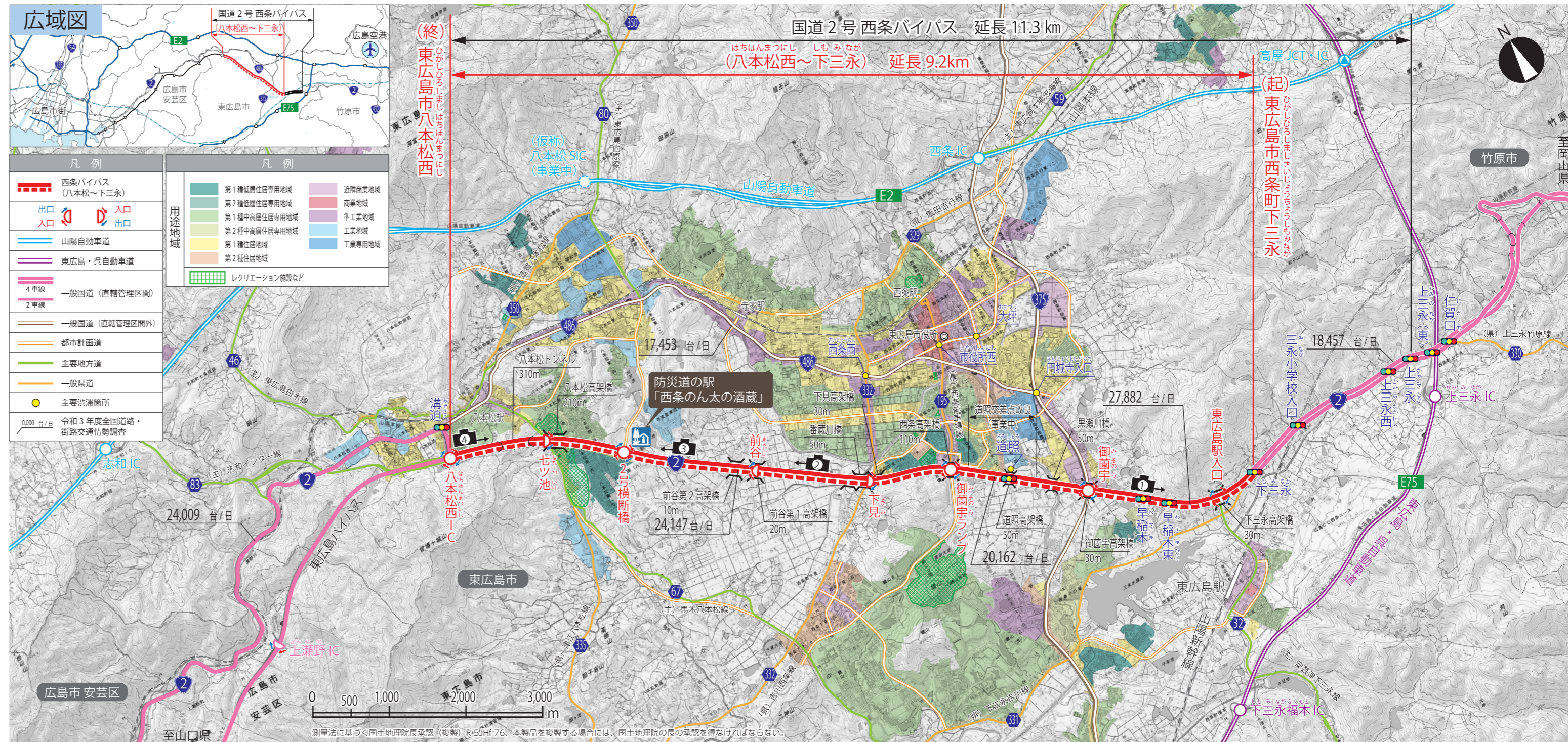
計画概要

計画延長	9.2km
施工区間	東広島市西条町下三永～東広島市八本松西
道路区分	第3種第1級
設計速度	80km/h(一部区間60km/h)
車線	4車線

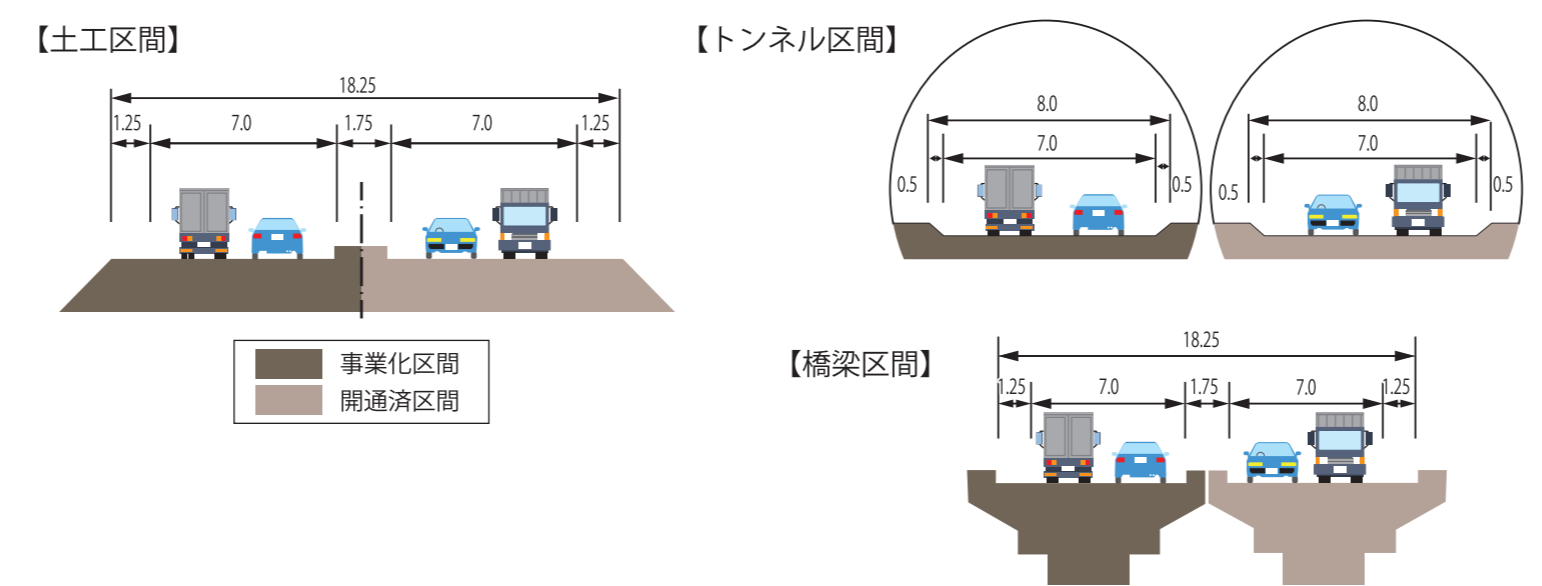
大阪市から北九州市を結ぶ国道2号は、西日本の大動脈として、地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな影響を与えています。国道2号西条バイパスは、**広島市と広島空港間、広島市と東広島市間、広島港と東広島市間**を結ぶ広域交通ネットワークを形成しますが、広域的な通過交通に東広島市街地からの交通が合流することで、通勤時間帯を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、日常生活や経済活動の支障となっています。

また、**広島市と広島空港間**を結ぶ交通ネットワークでは、山陽自動車道が主要ルートとなりますが、山陽自動車道における事故や通行止めにより空港バスの運休が余儀なくされるなど、空港アクセスが脆弱な状況にあり、山陽自動車道が通行止めの際には国道2号が迂回路となることから、国道ルートの強化が必要です。

これらの問題を解決するべく、現在2車線である国道2号西条バイパス（下三永～八本松）を4車線道路に整備し、円滑な広域交通ネットワークを確保します。



標準横断面図 (単位:m)



広島県で唯一!! 防災道の駅「西条のん太の酒蔵」

広島県で唯一の防災道の駅「西条のん太の酒蔵」は、大規模災害時には、警察及び自衛隊の救援部隊集結拠点として災害に対応することが想定されています。駐車場は、避難場所、警察や自衛隊の被災地救援の前線基地として機能します。

東広島バイパスの全線開通により道の駅へのアクセス性が向上しました。商業・観光振興等の地域活性化の中心地として機能するだけでなく、災害時には、道の駅を拠点とした防災機能の強化に寄与しています。

災害時の支援活動に必要なスペースを確保

防災倉庫・通信設備・自家発電 (無停電化、耐震化)
 防災トイレ
 貯水タンク
 非常用発電機

出典：道の駅「西条のん太の酒蔵」HP

西条バイパスの混雑状況

